

高浜町 議会だより



ブルーフラッグの和田ビーチと青葉山のコントラストが絶妙です。
【フジハラ写真館提供】

contents

◇トピックス	P2～4
◇採決一覧表	P5
◇質疑・討論	P6
◇一般質問	P7～10

◇委員会報告	P11～18
◇監査結果報告	P19
◇議員と語ろう会／編集後記	P20

第128号

平成28年度福井県原子力防災総合訓練開催！

TOPICS

原子力防災に係る 住民避難訓練に参加



8月27日(土)、福井県は、内閣府、京都府、滋賀県及び関西広域連合をはじめ、各市町並びに陸・海自衛隊、海上保安庁、150機関の職員等(約2,000人)及び住民(約4,000人)の過去最大の参加者数を得て、原子力防災総合訓練を実施した。

高浜町では、幅広い年齢層(5～80歳代)の住民、消防団、病院及び社会福祉協議会の249人が県内又は県外への避難訓練を行ったほか、高浜町独自の訓練として、民生委員による高齢者等の所在確認、小学校児童等の保護者への引渡し訓練、病院等への屋内避難訓練及び放射線防護設備の運転操作訓練を行い、その手順の確認をした。

また、町議会議員も三田市避難所へバスで避難、三田市消防本部において避難者受入れ訓練に参加した。

(西野朋宏)



三田市消防本部



スクリーニング訓練

今後の課題

安定ヨウ素剤の配布やスクリーニングについて	個別訓練や研修などを継続的に実施し、手順の習熟度を高めていく必要がある。
広域避難や避難者の受入について	多くの住民が避難ルートや手順等を確認し、避難元及び避難先が協力して、個別の避難訓練や受入れ訓練を継続的に実施することが必要である。
実動部隊の訓練	ブラインド型訓練(状況付与)を実施して内容を充実させる必要がある。
住民避難の手段について	確実な住民避難の方法として、発電所周辺に悪天候でも使用できるヘリコプター基地等の整備が必要である。

四国電力(株)伊方発電所・伊方町庁舎 (6月29日～30日)

TOPICS

原子力発電所関連施設 視察研修



愛媛県の伊方原子力発電所と伊方町役場で、視察研修を行った。

伊方発電所は3機とも高浜発電所と同じ加圧水型軽水炉である。3号機は7月26日の再稼働に向け準備中(現在は稼働中)。1号機は上蓋ドームもないことから廃炉とし、2号機は延長審査を準備・検討中である。

熊本地震での影響は全くないが地元住民の不安解消の為に、再稼働同意の時にも行った約2万8千戸を戸別訪問して安全説明に廻ったとの事である。最大8.1mの津波の想定だが発電所の敷地が海拔10mであり問題は無いが、水密扉を設置している。

伊方町庁舎において行政視察研修・意見交換を行った。

吉谷議長より、3号機再稼働同意に向けた議会の動きや住民の動向、発電所の長期停止による地元経済への影響、避難計画・訓練など状況説明を受けた。

避難計画では町が半島にあり、陸路避難や海上避難、屋内退避や半島孤立の場合等多くのケースを想定・計画されている。自主防災組織は55の自治区全てに組織されている。

(上尾徳郎)



伊方町庁舎

汐入1号雨水調整池整備工事（湯谷地係）9月30日完成!

TOPICS

完成間近の 地下調整池視察

7月21日(木)臨時議会の後、議員全員で湯谷地係、汐入1号雨水調整池整備工事現場を視察した。

本事業は高浜駅周辺の浸水や道路などの冠水被害対策として、平成26年より雨水調整池の設置工事に着手。流下能力を超えた雨水を一時的に2か所の調整池に取り込み、下流域の浸水被害を軽減させるものである。汐入2号についても現在進行中である。

(大塚ひとみ)



雨水調整池図



雨水調整池内部

- 工事概要／
調整池プレキャストブロック地下式
- 貯留能力／6,900 m³
※降雨強度は7年確率で46.8 mm/hrを想定
- 事業費(契約額)／1,502,334,000円
- 財源／社会資本整備総合交付金(国・県)
下水道事業債など



避難道路により原発事故時、住民の安全と安心を提供する (7月15日)

TOPICS

内浦トンネル(仮称) 貫通式が行われた

内浦トンネル(仮称)1,209mが貫通した。今後トンネル内の舗装、設備の取付、新内浦大橋(仮称)の新設、既設道路と接続されて完成する。平成24年度から着工し平成31年度完成予定。

幹線道路から原発までの道路の二重化で原発事故発生時の住民避難や防災機能の強化が図られる。(釣本音次)



高野地区古民家改修補助金に付帯決議！

TOPICS

高浜町議会では補正予算に対し付帯決議を行った。付帯決議とは、予算執行に際し役場が従うべき事項を議会の意思として公式に示すものである。

内容は、高野地区で古民家を改修して地域住民の交流施設を整備する事業補助金に対し、地域住民の理解が乏しいこと、個人所有の建物に対する補助金としては高額(1,080万円)なことから、一部関係者の芸術活動拠点として利用されないかとの懸念が議案審議で示されたためである。付帯決議までは不要との一部意見もあったが、賛成多数で議決した。



改修予定の古民家(観自庵)

■付帯決議の内容

1. 「観自庵」は高野区を始め周辺地区住民のコミュニティーの再生に関わる交流の場として、地区住民が週末茶屋や直売所開設など「福井ふるさと茶屋」の事業目的に沿った活動を実施する施設として使用すること。
2. 「観自庵」の改修工事は、高野区を始め周辺地区住民に事業の目的、財源計画などを丁寧に説明して賛同を得ること。
3. 観自庵プロジェクトの負担金250万円については確実に改修費用として負担させること。
(小幡憲仁)

一般会計補正予算に対する
付帯決議を行う！

明るい町の玄関口へ

TOPICS

9月6日、完成間近の高浜町新庁舎公民館に視察を行った。

木を基調とした落ち着いた内装、光が差し込み、明るい雰囲気の新庁舎となっていた。フロアには、今までなかったエレベーターが取り付けられており、全体的にバリアフリー設計に。議場には車いすの方が傍聴できるよう傍聴席にはスロープが取り付けられていた。会議室も広がり、今まで課題になっていた委員会傍聴のスペースも確保できていた。



【新庁舎】3階議場



工費や、備品購入、システム移設費など、新庁舎公民館にかかる全ての総額は約42億円となった。

予定では12月中に現庁舎より引っ越しし、1月より新庁舎でのスタート。

(児玉千明)

高浜町新庁舎公民館
いよいよ完成！



新庁舎公民館施設見学会

12/17(土) 午後1時～4時

18(日) 午前10時～午後4時



9月定例会では以下の議案を慎重審議しました

	議案件名	審議した委員会	本会議採決結果	関連ページ
議案第55号	平成28年度高浜町一般会計補正予算（第3号）	予算決算	全員賛成で可決	P12
議案第56号	平成28年度高浜町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	厚生文教	賛成多数で可決	P15
議案第57号	平成28年度高浜町介護保険特別会計補正予算（第1号）	厚生文教	全員賛成で可決	P15
認定第1号	平成27年度高浜町一般会計歳入歳出決算認定	予算決算	賛成多数で可決	P12～13
認定第2号	平成27年度高浜町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	厚生文教	賛成多数で可決	P15
認定第3号	平成27年度高浜町国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算認定	厚生文教	全員賛成で認定	P15
認定第4号	平成27年度高浜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	厚生文教	全員賛成で認定	P15
認定第5号	平成27年度高浜町介護保険特別会計歳入歳出決算認定	厚生文教	賛成多数で可決	P15
認定第6号	平成27年度高浜町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定	総務産業	全員賛成で認定	P11
認定第7号	平成27年度高浜町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	総務産業	賛成多数で可決	P11
認定第8号	平成27年度高浜町集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定	総務産業	全員賛成で認定	P11
認定第9号	平成27年度高浜町公有水面埋立事業特別会計歳入歳出決算認定	総務産業	賛成多数で可決	P11
認定第10号	平成27年度高浜町宅地分譲事業特別会計歳入歳出決算認定	総務産業	全員賛成で認定	P11
認定第11号	平成27年度高浜町水道事業特別会計歳入歳出決算認定	総務産業	賛成多数で可決	P11
議案第58号	高浜町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定	総務産業	全員賛成で可決	P11
議案第59号	高浜町手数料徴収条例の一部を改正する条例	総務産業	全員賛成で可決	P11
議案第60号	高浜町特別職の職員の給与及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例	厚生文教	全員賛成で可決	P15
議案第61号	原子力防災対策施設（若狭消防署高浜分署）改修工事請負契約	総務産業	全員賛成で可決	P11
議案第62号	高浜町中央体育館駐車場等整備工事請負契約	厚生文教	全員賛成で可決	P15
同意第2号	教育委員会教育長の任命（釣本眞史氏）	—	全員賛成で可決	—
同意第3号	教育委員会教育委員の任命（松浦博子氏）	—	全員賛成で可決	—
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めること（荒木保博氏）	—	全員賛成で可決	—
諮問第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めること（松岡茂和氏）	—	全員賛成で可決	—
陳情第1号	地方財政の充実・強化を求める意見書採択	総務産業	全員賛成で採択	P11
発委第1号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出	—	全員賛成で採択	—
発委第2号	議案第55号 平成28年度高浜町一般会計補正予算（第3号）に対する付帯決議	—	賛成多数で可決	P4

本会議での質疑・討論

質疑

議案第55号

井上順也議員

学校給食センタートイレ改修工事の実施理由は、保育所(自所式)での対策は。

教育委員会事務局長

文科省衛生基準に基づき実施。

保険福祉課長

保育所でも、今後、実施する。

小幡憲仁議員

観自庵の自己負担金は。

総合政策課長

予算決算常任委員会で説明する。

山本富夫議員

ゴミ処理施設等のサーマル発電の考えは。

総合政策課長

現段階は、検討中である。

質疑

認定第1号

機部武史議員

職員の就業時間について、管理書類と勤務実態に不整合とは。

総務課長

タイムカードと超過勤務に不整合があった。

討論

議案第56号

反対討論

渡辺 孝 議員

国民健康保険の都道府県化は、保険料の値上げ、徴収が強化されることが予想される。

討論

認定第1号

反対討論

渡辺 孝 議員

危険な原発に大きく依存した、不安全、不健全な財政である。同和対策事業は、一般対策に移行すべき。

賛成討論

山本富夫 議員

原発は、地場産業として図りしえない恩恵があった。同和対策事業は、全国的にも先進地として評価されている。

討論

認定第5号

反対討論

渡辺 孝 議員

第1号被保険者の保険料が平均1.7倍値上げされた。

賛成討論

山本富夫 議員

高齢化が進んでいる。地方と国のバランスを取るべき。

討論

認定第9号

反対討論

渡辺 孝 議員

当初から埋め立て工事は、自然破壊と反対してきた。

賛成討論

栗野明雄 議員

企業誘致として効果がある。

討論

認定第7号

反対討論

釣本音次 議員

雨水調整池は、台風や豪雨時に被害を軽減するだけとある。

賛成討論

栗野明雄 議員

大切な社会インフラである。

討論

認定第11号

反対討論

渡辺 孝 議員

上水道の「繰入金」は収益的収入に入るべき。

れるべき。

反対討論

釣本音次 議員

今使っている送水管を使用すれば安く済む。

賛成討論

栗野明雄 議員

会計方式として妥当である。

討論

発委第2号

反対討論

大塚ひとみ 議員

地域コミュニケーション作りは一朝一夕にできない。内容は十二分に理解され執行されると判断する。

反対討論

上尾徳郎 議員

県の採択事業である。内容は十分配慮され実施されていく。

賛成討論

山本富夫 議員

決議で事業がしっかりとしたものになる。

賛成討論

小幡憲仁 議員

ピースマスクなど芸術活動が中心となる懸念がある。事業目的に沿った使い方となるよう付帯決議が必要。

Q 城山公園の管理状況について

A 整備内容を検討する

栗野 明雄 議員



城山遊歩道

Q 城山は現在も荒れたままである。道路には雨水が流れて路面が削られて、ひどい状況になっている。登り口の、のり面は崩れたままで何の対策もしていない。遊歩道のコンクリートは何十年も割れたままである。何度質問を行っても進展はない。やる気があるのか確認をしたい。

A 日常の維持管理はシルバー人材センターが行っている。つつじは植栽管理を継続したい。老朽施設は、整備内容を検討したい。

話し必要な財源の確保を進めたい。

■フィルムコミッションの現状は

Q 映画のロケの誘致やロケの協力支援体制をどのようにとっているのか。観光地として映像の発信効果は大きい。現状は。

A 平成22年に城山がロケ地として採用されて以来ロケ地になったことはない。一時的なロケよりも町の特徴を発信していきたい。

Q 小中学校における防災教育について



西野 朋宏 議員

A 「最善を尽くす」「率先避難たれ」

Q 高浜町の小中学校では、どのような防災教育を実施しているのか？

A 「児童生徒が災害についての基礎的な知識を身に付け、災害に直面した時には自分で判断し行動できる、実践的な態度を育成すること」と「想定にとらわれない」「最善を尽くす」「率先避難たれ」を目指している。



防災訓練

◆道路交通法の一部改正への対応について

Q 平成29年6月までに施行の道路交通法の一部改正について高齢運転者対策が規定されている。

A 満70歳以上で運転免許を自主返納された方に赤ふんバス又は京都交通バスの利用回数券1万8000円分を交付している。運転免許を自主的返納するためのきっかけづくりとして実施しているものである。

Q 高浜保育所移転の計画はどうか問う

A 保育ニーズに対応できる保育所

廣瀬 とし子 議員



はまなすパーク
公衆トイレ



高浜保育所

Q 施設は築30年を経過し、建物等の老朽化が進んでいる。保育室・廊下が狭く部屋には収納室がない。乳幼児も増える状況で、園児がのびのびと遊べる環境ではない。送り迎えの駐車場もなく、近隣に迷惑をかけている。安全安心を守るために早急に移転場所の計画が必要である。

A 今後の人口減少社会における児童数の推計も勘案し、保育所として必要な施設規模や用地のあり方などの調査業務を実施したいと考えている。

■ はまなすパーク公衆トイレの進捗状況について

Q 公衆トイレを利用する海水浴客を多く見受ける。洋式トイレ・バリアフリー化を含めて改修はどうなっているか。

A 国道からのアクセスがよく、最も利用率が高い東側駐車場トイレについて、バリアフリー化の多目的トイレ1基が併設される運びとなる。9月中頃から工事に着手する。女子トイレ2基のうち1基は洋式に改修している。

Q 木質バイオマスは調査結果如何によっては撤回の決断を

A 調査の結果、事業性が見通しが立たなければ計画は断念する

小幡 憲仁 議員



高浜町が導入予定の木質バイオマス
(写真は全く同じタイプではありません)



ブルクハルク社製
ガス化ユニット



ブルクハルク社製
熱電併給ユニット

Q ①職員負担が大きく急ぐ必要のない木質バイオマスは先送りすべき。

②調査の結果、事業性が立たなければ撤退すべき。

③施設の整備場所は。

④嶺南全域で考えるべき。

A ①間伐材の出口対策が急務。平成30年に施設整備を行いたい。

②事業性が困難であれば計画は断念する。

③熱電併給施設は道の駅西側民間所有地。ペレット製造は町外を検討。

④嶺南地域全体での取り組みも検討する。

◆ 核燃料税の配分増額を
Q 核燃料税見直しに伴い立地市町への配分増額を求めるべき。

A 立地市町に対し核燃料税全体の税収の4割交付を求めている。

◆ ブルーフラッグ取得効果の評価は

Q ブルーフラッグ取得の効果と今後の展開をどう考えているか。

A 海水浴客が13%増加した。特に和田が多い。今後は春秋の体験メニューの充実にも取り組む。

Q 原子力災害避難先との協定は

A 未だ協定に至らず

渡辺 孝 議員



町花 ハマナス

捉えており、今後も大切に育てていきたい。「杜仲」は条例制定されていないが町木としてしている。

Q ①県外避難先の兵庫県三田市、宝塚市、猪名川町と高浜町との間に「受け入れ協定」が未だなされていないのはなぜか。

②和田地区など住民にも安定ヨウ素剤を事前配布すべきではないか。

A ①受入れ市町と4者で協議を行っているが、未だ協定には至っていない。今後も協議を重ね信頼関係を高めていく。

②県と協議・検討している。

■子ども医療費の窓口無料化について

Q 子どもの医療費無料制度は、病院窓口で無料化にできないか。

A 国の保険者へのペナルティもあり、県と各市町で対応を協議している。

■町花ハマナスについて

Q 町花ハマナスをもっと重要視すべきではないか。また条例上、町木の指定はないかどうか。

A 町花ハマナスを貴重な地域資源の一つとして

Q 高浜町役場内の職場環境の改善策は

A 仕事量を減らし、ストレスチェックや健康診断で対応する

釣本 音次 議員



Q 心労で退職される理由と対策は。

A 職場環境や過大な業務量によるストレス等による。対策として超過勤務の改善、業務のスクラップ、職場内のコミュニケーションを図る。

Q 今後の対策に期待する。うつ病対処法を提案する。

①オキシシンの使用を医師と相談してみてもいい。

②心のより所となる考え方を幼児期に取り入れてみる。



孔子像(出典/中国歴代名人図鑑【上海書画出版社】)

判断基準がなければ、当然決断できず精神的に不安定となる。古くから日本人の考え方の根底には、仁・義・礼・智を尊ぶ思考があるように思う。現在では本来一番下にあるべき智が一番上に来ている知識のある人がもてはやされる風潮がある。知識も人間性により良くも悪くもなる。

最後に悩みを抱える職員に訴える。悩みを一人で抱えこまないで。私にご一報下さい。

Q 中学校グラウンドからの砂塵 被害対策できないか

A 砂防ネットが付けられるか検討する

井上 順也 議員



住宅隣接の高中グラウンド

Q 学校周辺の住宅環境の充実について中学校グラウンドからの砂塵により、洗濯物に砂が付着したり、サッシや屋内に砂塵が入り込み、清掃を頻繁に実施しなくてはならない状況がある。砂塵被害対策として砂防ネットの設置ができないか。

A フェンスにネットを取り付けるには強度に問題がある。現在、フェンスのぐらつきがある、その対策にあわせて砂塵対策を検討する。
高浜町の魅力度向上と

して、現在、住んでいる方の満足度も向上させる。グラウンドの芝生化は、グラウンド改修に合わせてできないか検討する。

■被災者台帳「被災者支援システム」について

Q 災害発生時の被災者の援護を総合的かつ効率的に行なうための基礎となる台帳を整備できないか。

A 被災者の事務的負担軽減、的確、迅速な被災者支援が可能となるメリットがある被災者台帳の作成を検討していく。

被災者台帳簡易版

項目	氏名	居所	住家被害認定調査票
法令上の位置づけ	法	法	法
番号	3003 1	3003 4	3003 5

被災者台帳(例)

Q 高浜漁港再整備の補助事業の条件は

A 漁協の経営改善計画と実行の確認

上尾 徳郎 議員



Q 事業の進捗状況と「合意形成」の段階は。

A 8月に基本設計を業務委託し協議に入った。調査・計画内容の進捗に応じて関係者への説明会や意見交換を行い合意形成に努める。

Q 補助事業の内容と申請期限は。

A 水産庁の「強い水産業づくり交付金」農水省の「農山漁村振興交付金」。今後の進捗にあわせて効果的な補助事業の活用も視野に進めていくが、現時点では整備に不可欠な



高浜漁港再整備予想図

漁協経営の改善策や地域との合意形成を優先的に進め、機が熟した段階で事業申請したい。

Q 6次産業施設の事業主体は。

A 施設整備は高浜町が事業主体。運営面は、1次2次産業事業者と3次産業を担うパートナー企業の出資による「6次化事業体」を指定管理者とする案で検討。

※総合計画「後期実施計画」の重点事業について、住宅政策と空き家対策についても質問しました。

国体に向けて任期付職員の採用はあるのか

総務産業

常任委員会レポート

委員長 山本 富夫



山中簡易水道施設フェンス

◇ 9月15日(木)

●認定第6号

■平成27年度高浜町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定

決算総額の歳入歳出とも5495万203円で歳出事業は各膜処理施設の設備点検業務である。

取水地のイノシシ等の侵入による問題はないのか。

フェンス等の設置により侵入を防いでいるとの回答があった。

●認定第7号

■平成27年度高浜町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定

決算総額の歳入歳出とも13億3058万1961円。

汐入2号雨水調整池実施設計業務について現在ある送水管に雨水を送水することは出来ないのか。

設計書等の作成と地質調査の準備貯留式での計画で送水管での排水は計画に無く多額の費用と送水管に雨水を流すことは出来ないとの回答があった。

9月末完成予定の湯谷地保雨水調整池の状況について。

本体はほぼ完成しており、湯谷のグランド、フェンス、周辺道路の復旧は別工事の発注で10月から工事にかかるとの回答があった。

●認定第9号

■平成27年度高浜町公有水面埋立事業特別会計歳入歳出決算認定

決算総額の歳入歳出とも2億3871万5343円で、主な歳出は起債の償還。

●認定第10号

■平成27年度高浜町宅地分譲事業特別会計歳入歳出決算認定

決算額は、歳入歳出とも798万362円で27年度実績は、1区画の販売実績。残り区画と、28年度販売状況について、27年度末時点で残り22区画で28年度は2、3区画の見込みがあるとの回答があった。

●認定第11号

■平成27年度高浜町水道事業特別会計歳入歳出決算認定

収入合計額は、2億5786万7688円。支出合計額2億3030万6499円。主な支出事業内容は、JRW西日本への送配水管敷設工事費である。

●議案第58号

■高浜町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定

この条例が出された経緯は、国体等の職員採用があるのか。

任期付き採用で国体の職員もあるが、一般職の2000人の総枠の中での採用もあるとの回答があった。

●議案第59号

■高浜町手数料徴収条例の一部を改正する条例について

徴収していた手数料を無しにする経緯と、国体に向けた屋外広告看板の規制について。

手数料については、県との協議の結果、徴収しない。看板については、国体に向けた景観を重視し国道周辺を重点に規制を設けるとの回答があった。

●議案第61号

■原子力防災対策施設(若狭消防署高浜分署)改修工事請負契約

若狭消防署高浜分署改修工事請負契約。

赤ふんバスの土日祝日の試験運行を11月と12月で行う

予算決算

常任委員会レポート

委員長 栗野 明雄



赤ふんバス

焼却施設の話がある、ゴミとバイオマス燃料と抱き合わせ、燃料として発電すれば効率もよく、窯の傷みもへり、費用も削減できるとの提案があった。広域行政組合にも

検討訴状に挙げたい。

一斉メール配信サービスは、防災情報・クマの情報などのカテゴリーを作っておき、登録をすると、情報が届くサービスである。

赤ふんバスの土日祝日の運行を、11月と12月で試験運行する。

福井ふるさと茶屋整備事業補助金の観自庵について。

この事業

は、中山間地域で小学校単位の地域で、既存施設を活用し、住民がより合う場所や、地元の農産物の販売などを行う拠点



ピースマスク



観自庵(外観)

を整備して、地域のつながりを強化し、人口定着を推進するものである。

ピースマスクについて、観自庵メンバーについて、地元高野区の理解について、など多くの意見が出た。

【教育費】

他町の食中毒のことを踏まえ給食センターのトイレを洋式に変えるとの回答があった。

【土木費】

福井国体を控え福井県屋外広告物条例が制定され、禁止区域がかなりの種類に増えた旨報告された。



●認定第1号

歳入総額は11億4889万6642円で対前年度比17・1%の増額、歳出総額は11億2億8558万4612円で対前年度比14・2%の増額。経常収支比率は89・7%であり、財政健全化判断比率も現状は問題のない数字である。

【総務費】

区有灯のLED化について進捗状況は。全体の約4分の1がLED化済み。

人材育成事業補助金は全体の政策として継続意思はないか。

発電所が完全に動き出し、正常な体制になればいったん仕切り直しとした。

町史編さん事業の状況は。

人材確保に苦慮しているとのことであり、あまり進んでいないとの見通しが示された。

琵琶湖若狭湾快速鉄道義金積み立て事業負担金で、新幹線問題もあるのでは今後の展望は。

ほかの事業に代わる可能性もある中で、続けながら今後の対応を考えていく。

ふるさと納税推進事業では、1280件、3920万円の成果があったが、町を応援していただけたというところで、イベントに招待するなど、

◆9月12日(月)～14日(水)・26日(月)
●議案第55号
討論・採決は最終日に行った。歳入歳出は1億6927万円8千円を追加し、予算総額を15億84139万4千円とする。

【総務費】

木質バイオマス熱電供給事業プレーヤーは、いきいきタウン高浜を想定している。実際携わる方は、決まっていない。

現在、嶺南広域連合で、一般ごみの



新庁舎駐車場

企業誘致用の土地がないが対策は。
ターゲットを20代女性に置いていく。どのような企業・業種を望んでいるのか、検討に入るので、年度内には方針が出る。
新庁舎公民館建設事業では、駐車場のスペースに対する確認が行われた。



ふるさと納税謝礼

後のフォローの要望があった。



ヒラメの中間育成事業

大半の後継者がいない状況であることが示された。漁業者確保には漁業権のあり方を問う声があった。また、高浜漁港施設改修事業では必要性への懸念が示された。

水産振興事業で、漁業の後継者の不足が心配されるが。

栽培は順調に推移。現在野菜のカット工場に着手。閉鎖型の植物工場は、設計段階。県も町も年度内完成を目指すように指導する。
また、地元への発注を促すように要望があった。



福井和郷の全景

園芸産地育成強化事業で、安土の施設の進捗状況は。

【農林水産業費】
獣害問題で、平成27年度の捕獲頭数は1258頭であることが報告された。この数字は、けがなど状況の悪いものは処分を断られるので実数はもっと少ない。

【民生費】

ヒラメの中間育成事業では、事業としては継続しており、一か月くらい育成したものを放流している。6次化施設ができたときには廃止の方向である。

【民生費】

敬老会事業に対し、出席率の向上を図るように要望が出された。平成27年度の敬老会出席率は高浜町全体で24パーセント。

老人日常生活用具給付事業では、一人暮らしでガスが心配という方にIHの電気調理器の給付を行っている、要望があれば1割負担で設置はさせていただく。

【商工費】

中小企業振興資金貸付預託金事業は、事業者からの意向もあるが、貸付限度額の上乗せは現状維持で考えている。申し出が多ければ拡大も検討する。

【教育費】

福井国体推進事業で地元に着したものを残すようにならないか。

高浜町の文化に根付いていけば良いとの答弁。

国際交流事業では、今後の方向性の確認がなされた。ミヨンチョン小学校との交流は、今後も続けていくが、現在、政治的な面で不透明感があり、状



津波避難をする保育所児童

防災訓練実施事業で、地震津波避難訓練がJR青郷保育所協力のもと、電車を止めて高台に避難する訓練を実施したことが報告された。
自主防災組織の立ち上げを進めるように要望があり、各種会合などでアナウンスしていくとした。
町長には町民の方の傷みを伴う事業を町民に理解を得て、生きがねとして使うようにとの要望が出た。



ミヨンチョン小学校との交流

況を見て判断したいとのことだった。
また、英語教育の充実への要望も出された。

子ども1人ひとりを大事にする「子ども食堂」

厚生文教

常任委員会レポート

委員長 廣瀬とし子



みずうみ保育園

◇6月15日(水)

■みずうみ保育園【美浜町】

美浜町には3ヶ所の保育園がある。今回は平成26年度に完成したみずうみ保育園へ、敷地は5565㎡(うち園庭約1869㎡)木造・瓦葺・平屋建てである。玄関に入ると木の温もりを感じさせる。遊戯室は天井が高く園の中心で、1才〜2才児ゾーンと3才〜5才児ゾーンに別れている。保育室は床暖房になっている。園児は素足である。ランチルームもあり、調理室も見える。

◇8月8日(火)・9日(水)

■①滋賀の縁(え)に創造実践センター

(滋賀県社会福祉協議会内)

【滋賀県草津市】

●子ども食堂について

社会的に貧困問題が大きく話題になっている。貧困を抱える家庭では親が就労や病気で家事ができず、子どもが家族の団らんを知らず育つということが増えていることから、子どもの居場所づくりの一環として実施している。滋賀県では地域に子ども食堂をつくり、子どもたち一人ひとりが大事に

される居場所をつくっていく事業である。子ども食堂は大人も一緒に参加することが出来る、子どもとの交流場である。各地域で子ども食堂が増えつつある。(月1回カレライス)



滋賀県社会福祉協議会

②守山市教育委員会

【滋賀県守山市】

●少人数学級の拡充について

他市町に先駆け小人数学級を実施しているこの取り組みについて(グローバル社会を生きる力の育成一人一人の主眼的な学びの実現にむけて)教育文化都市を目指す守山市では、小学1、

2、3年生で32人程度の少人数学級を実施し、きめ細かな指導が行われている。また、学区内の小中学校が連携して学習意欲・学力向上に取り組む(小中連携事業)など、自ら学ぶ力を育む教育環境の充実に取り組んでいる。

●幼児期からのハローイングリッシュ事業について

守山市内の小学校・幼稚園・子ども園・保育所では、幼少期から英語に慣れ親しめるよう、英語指導助手(ALT)による「ハローイングリッシュプロジェクト」を実施されている。昼食や休み時間を一緒に過ごしたり、英語で歌を歌ったりゲームをしたりしながら、楽しく学ぶ英語学習に取り組んでいる。

◇9月16日(金)

■若狭高浜病院【高浜町】

(訪問看護ステーション2階)

●病児・病後児保育施設について

10月1日から若狭高浜病院附属に病児・病後児保育施設 サン・スマイルが開設される。病気の治療中や回復期で家庭での保育が困難なお子さんを預かる。保育所などに通っている町内在住のおおむね1才から小学校6年生ま

でのお子さんが対象である。まずは登録が必要である。一日の受入れ人数は3名である。部屋は明るく環境がよい。

◇9月16日(金)

●議案第56号

■平成28年度高浜町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

平成30年度国民健康保険制度の改正が行われ、県が国民健康保険の財政運営の責任主体となる。国民健康保険の管理しているシステムの改修が必要になるため、その改修費として99万9千円を計上する。



●議案第57号

■平成28年度高浜町介護保険特別会計補正予算(第1号)

平成27年度分の介護給付金費や地域支援事業にかかる国負担金等、国、県への返還である。

【賛成多数で可決】

●認定第2号

■平成27年度高浜町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定

前年度に比べて増加した主なものとしては、保険給付費や、制度改正に伴う共同事業拠出金等である。

【賛成多数で認定】



病児・病後児保育施設

●認定第3号

■平成27年度高浜町国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算認定

昨年度の訪問の件数は217件26年度が265件、訪問診療もされている。

【全員賛成で認定】

●認定第4号

■高浜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定

【全員賛成で認定】

●認定第5号

■平成27年度高浜町介護保険特別会計歳入歳出決算認定

前年度と比べて981万7637円増となっているが、介護保険施設等に入所された際に、単純に給付費が増えたことが要因である。高浜町内だけの施設を利用された場合、入所者の定数が決まっている、施設サービスが増えることはない、町外の老人保健施設に入所されている場合、高浜町から給付費を支払う形になる。

【賛成多数で認定】

●議案第60号

■高浜町特別職の職員の給与及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例

高浜町史編さん委員会を設置し、しつかり方向性が決まってこないと編集

が進まない、あらためて整備する。人数は12名予定、当面は8名程度で発足したいと考えている。

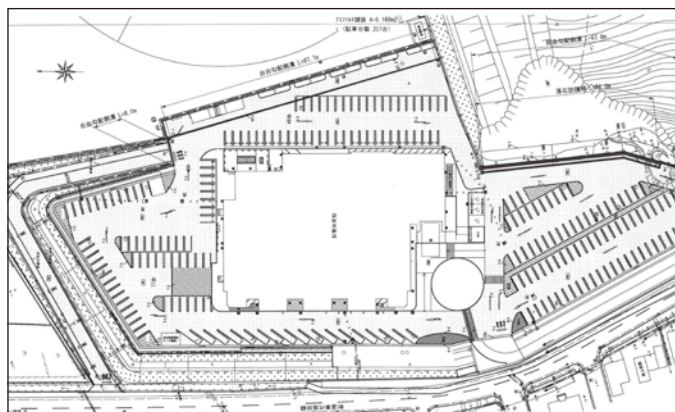
【全員賛成で可決】

●議案第62号

■高浜町中央体育館駐車場等整備工事請負契約

体育館南側駐車場へ山側から落石を防止するため重力式擁壁や落石防護柵を設置する。体育館構内にアスファルト舗装を行い駐車台数207台分の駐車場を整備する。

【全員賛成で可決】



中央体育館駐車場等整備工事

高浜1・2号機の 運転延長は万全か

原子力対策

特別委員会レポート

委員長 栗野 明雄

◇9月21日(水)

資源エネルギー庁・渡辺原子力政策企画調査官から、国のエネルギー政策について説明を受けた。

原子力発電所を立地している当町として、国策としての原子力を基本・大局から学ぶものである。

東日本大震災以降のエネルギー事情・省エネ・再エネ・最終処分エネルギーシステム改革などの内容である。

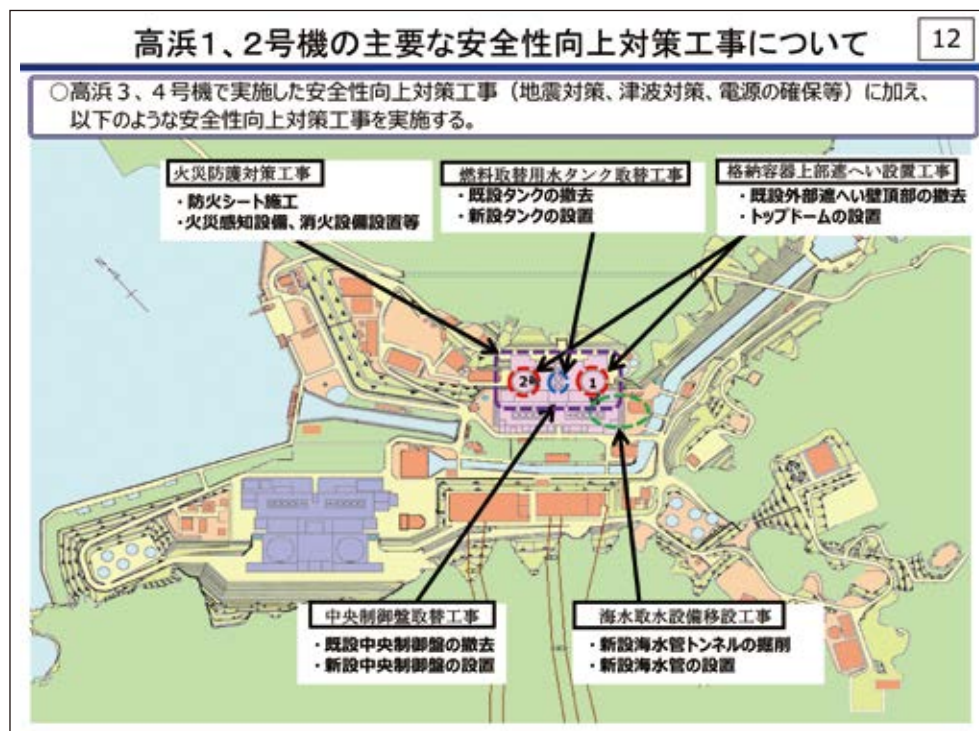
福島事故以来、我が国は、高値の天然ガスを輸入せざるを得ず、貿易赤



字に転落し経常収支を大幅に悪化させた。また、省エネが進み石油ショック以来、実質GDPが2.4倍になったが、最終エネルギーの消費は1.2倍にとどまっている。次のグラフのように2030年でも原子力の価格が一番安いデータが示された。

使用済み燃料の最終処分については年内に科学的有望地が示されることが説明された。

関西電力高浜発電所の現状について、所長より説明を受けた。



高浜1・2号機の運転期間延長及び安全性向上対策工事の計画について。運転延長というが、当初から実機の状態を確認したうえで見極めていくこととしており、40年といった特定の運転期間は定めていなかった。アメリカでは稼働中の99基のうち、約8割以上が

20年延長の申請済みである。38基は40年を超えて運転し、その設備利用率は約90%である。ヨーロッパでは10年ごとの安全レビューにより、運転継続の妥当性を評価している。

大津地裁仮処分については、大阪地裁に抗告されており、10月13日に第1回の審尋がある。

地方創生交付金のは 使われ方は

人口減少問題対策調査

特別委員会レポート

委員長 山本 富夫

◇9月20日(火)

地方創生交付金について

■平成27年度加速化交付金「移住」と「医住」を目指した全国初の「コミュニティケア 総事業費3083万円

平成27年度交付金事業を全部実施していないがどうなったのか。

平成28年度事業に繰越して実施し、コミュニティケアは福井大学と委託して実施。

■平成28年度 推進交付金 総事業費1811万円

①パブリックベンチャー育成事業



学生によるSNS等での情報発信の効果はあった。

■浜茶屋転活用実証実験の結果は。

青空キッチン売り上げは98万円。

・浜茶屋転活用 397万円

策定 324万円

②ブランド戦略・観光誘致宣伝事業
・ブルーフラッグを活用した戦略

・8年間の実績がネットワークの強化になっている。

和道路地祭の事業が和田地区だけのイベントになっていないか。

・民宿遺産活用担い手育成イベント 250万円

・パブリックベンチャー育成事業とは。ライフセーバーアカデミーで子供の体験教室を行った。

・ライフセーバーアカデミー整備 300万円

クマ出没情報のか 伝達は十分か

鳥獣害対策

特別委員会レポート

委員長 井ノ元 康夫

◇9月23日(金)

当委員会では、現在実施されている対策について報告を求めた。

テレメトリー調査では、山中地区で捕獲された個体での状況が説明され、その行動範囲が確認出来た事により、他の群れの状況も予測出来た。現在調査を目的に導入したが、群れの動きが予測出来る為、追い払いにも利用出来るよう使用して行きたい。

次にサル用大型捕獲檻の実施状況では、町内2ヵ所に設置済みで現在は、餌付け作業を行っている、檻周

辺に警戒することなく出入りさせながらエサ場である事を認識させる事が重要で、カメラを設置して、檻の中に出入りする事が確認出来ているので、不具合を修正し捕獲して行く。

電気柵の点検及び改善状況については、町内の多くの耕作地が電圧不足や柵線の間隔などの不備によるものである事は、昨年度の調査でも指摘されている。適切な設置を行えば効果のあるものと考えている。より効果を上げる為に、各地区で点検、改善を行っている。今後も点検依頼があれば現地で実施して行きたい。

最後にツキノワグマの出没状況について目撃情報があれば、その地区に有線放送や関係機関にパトロールを依頼している。青郷、内浦地区に目撃情報が集中していたが、9月に入り和田地区で目撃されるなど状況の変化に対応して行く。

委員からは、今後も別の群れにも発信機を取り付け監視して頂きたい。捕獲にも利用して頂きたい。

電気柵については、獣種によって有効な商品が全国各地で紹介されている。現在の物に限らず検討して欲しい。

追い払いで使用している現在の火花よりも効果の上がる火花を使用したい要望がある。

若狭消防組合議会

レポート

議員 井ノ元 康夫

◇7月1日(金)

■第174回若狭消防組合議会臨時会

(全員出席14名)

松崎晃治若狭消防組合管理者から議案4件が上程されその提案理由の説明がなされた。

●議案第1号

■若狭消防組合情報公開条例の制定

【全員賛成で可決】

●議案第2号

■若狭消防組合行政不服審査会条例の制定

【全員賛成で可決】

●議案第3号

■財産取得

災害対応特殊消防ポンプ自動車の契約。契約金額3628万8千円。

【全員賛成で可決】

●議案第4号

■財産取得

高規格救急自動車の契約。契約金額3056万4千円。上中分署に配備予定。

【全員賛成で可決】

政務活動費って？

相次ぐ不正受給

最近、新聞やニュースでよく見かける
政務活動費って？？



1

福井県内の町議会において政務活動費があるのは高浜町ですが、用途などが細かく決まっており、使わない分は町に変換するシステムです。

月額 8500円

ちなみに高浜町は…

3

詳しい内訳は請求すると
閲覧可能です。
お気軽に役場3階
議会事務局までお越し
ください。



4

政務活動費とは

地方議員に
政策調査等の
活動のために
支給される費用。
自治体により支給額は
千差万別。
0円から何百万の自治体も。



2

議会傍聴にお越しください！



町民の皆様の議会傍聴大歓迎です！事前予約は不要です。
受付は会議当日議会事務局で行っております。
次回定例会は12月です。お待ちしております。



高浜町議会事務局 ☎0770(72)7710
<http://www.town.takahama.fukui.jp/index.html>

平成27年度決算監査結果報告

監査委員 小幡 憲仁

■一般会計の決算概要について

●歳入総額 116億4889万6642円(対前年度比17・1%増)
町税収入が2億593万6430円増加した。原子力発電所の安全対策に伴う設備投資で固定資産税が増加するとともに農業補助金や核燃料税交付金、電源立地地域対策交付金など国・県支出金も増加した。

●歳出総額 112億8558万4612円(対前年度比14・2%増)
新庁舎公民館建設に10億7222万4968円、次世代施設園芸に7億9017万5千円、定置改良事業に1億4757万6708円、青葉山健康長寿の里に1億7960万7449円などの支出がある。不用額が4億3288万7593円となったが、予算が過大であった可能性もあり予算編成に一層の厳密さを求める。

■特別会計の決算概要について

●歳入総額 44億9677万3059円(対前年度比81%増)、歳出総額 44億6669万7142円(対前年度比78

%増)

介護保険では、保険料値上げで保険料収入が増額し1713万2531円の黒字となった。高齢化に伴う歳出増加が予想されるため町民負担を抑制する検討が必要。

公共下水道では、湯谷の雨水調整池整備により前年度比41%の歳出増となった。

集落排水は、三松地区集落排水を公共下水道へ移行する事業などで前年度比16・0%の歳出増となった。

宅地分譲は、坂田グリーンタウンの分譲が減り歳入減となった。早期完売に努められた。

水道事業は使用水量が20%増加し年間有収率も向上。当年度純利益は対前年度比26・6%増加した。

大規模漏水等もなく経営は良好。このため利益剰余金が増えており水道料金の妥当性の説明が必要である。

■基金・地方債の状況について

財政調整基金などの基金残高は4億2252万4886円増加し70億5866万9444円となった。

地方債は9億6516万6133円返済したが、11億7357万円を新規借入れたため、残高は金利も含め3億6297万1790円増加し89億3514万7840円となった。今後も新規起債が予定されており計画的な財政運営が必要である。

■町財政全般の状況

町財政の自主財源比率が前年度から94ポイント減少し43・6%となった。国県支出金が増加した結果であり自主財源そのものの減少は前年度比36ポイント減である。財政の自由度を示す経常収支比率は町税収入増により52ポイント改善し89・7%となった。

財政力指数は0・951である。他自治体と比較すると高い数値である。今後も発電所の投資で町税増加が期待されるが規律ある財政運営に努められたい。

財政健全化判断比率も問題のない数値を示している。今後は新規借入も必要であり実質公債費比率などの変動には注意が必要である。

■工事監査・行政監査の状況

新庁舎公民館など5施設の工事監査を行い適切な施工を確認した。
現金・口座の確認を徹底し、支払書類等の照合、物品購入時の確認手続き

も検査し問題ないことを確認した。町職員の就業時間管理について対策の必要性を指摘した。所管課から改善対応の報告を受けているが一層の改善を求める。

■おまけ

高浜町では多くの事業を同時並行で実施しており今後もこの状況が続く。今一度、役場の執行体制の点検が必要である。

また、事業集中で地方債残高が増加に転じた。現時点で将来不安のある数字ではないが今後の推移に注意が必要である。



中央体育施設擁壁工事の定例監査

議員と 語ろう会

皆さんの声を
町政に!!

2会場同時開催

議会をチェックするのはあなたです!!
批判や意見、提言など自由なご意見をお聞かせください。



11/8 (火) 19:30~21:00

- 保健福祉センター 2階大広間
横田議長、渡邊議員、磯部議員、井上議員
- 青郷公民館 第1研修室
上尾副議長、山本議員、井ノ元議員、釣本議員



11/9 (水) 19:30~21:00

- 瑞祥苑 1階大広間
横田議長、粟野議員、廣瀬議員、西野議員
- 内浦公民館 1階会議室
上尾副議長、小幡議員、大塚議員、児玉議員



※どの会場でも自由にご参加ください。

編集後記

日ましに秋の深まりを感じる今日このごろです。秋と言えば、食欲の秋、運動の秋と楽しい時期ではありますが、忘れてはならないのが台風又は秋雨前線による災害の秋です。毎年、全国各地で災害が発生するたびに住民の避難行動を巡るさまざまな問題が噴出していきます。

危機(災害)は突然に襲ってきます。そして、人はパニックに陥り、何をしなければならぬのか分からなくなり、意味のないことをしてしまいます。そして被害が増大して行きます。しかし、人は、「危機(災害)など自分には関係がない」と思っています。ですが、危機(災害)は誰にでも襲い掛かってきます。

危機(災害)を何度か経験すれば、対応能力は身につくでしょう。しかし、生命を左右するような危機に直面することは極めて少ないものです。だから死に至るような危機(災害)に対する経験が豊富というわけにはいかないのです。それでも人生の中に死に至る危機が自分の身に降りかかる可能性はあるものです。そこで事前に訓練をしようということになります。原子力防災総合訓練もその一つです。

命を守ることは重要なことなのに、日本ではこれらのことを教える教育システムが構築されていません。日本人のほとんどが経験・学習していないことだと思っています。

これらのことを踏まえ、高浜町議会は、危機(災害)に強い町づくりを目指して行きたいと考えています。

広報特別委員会

委員長 井上 順也
副委員長 西野 朋宏
委員 小幡 憲仁
大塚ひとみ
釣本 音次
児玉 千明